

旭陵関西

発行人
旭陵同窓会関西支部長
阿部 紀一郎
印刷所 富士精版印刷㈱
TEL. 06-6394-1181

今年の「ワクワク」



旭陵同窓会関西支部長
阿部 紀一郎
(54期)

一年前、大阪・関西万博が大盛況だったことを振り返っています。ワクワクを感じた方も多かったのではないのでしょうか？皆さんの今年のワクワクはいかがですか？

同窓会のホームページが新しくなりました。

これまで本部と東京、関西で独自に運営されていましたが、「旭陵同窓会」として一本化したしました。更新が手軽にできることからより多くの情報発信を心がけます。下関本部、東京支部を始めとする各支部、西高との情報共有を充実させたく存じます。その結果として関西へ進学、就職、転勤などの際の手がかり・足がかりとなる



旭陵同窓会会長
伊藤 真一
(66期)

新緑の候、皆様にはますますご健勝、ご活躍のこととお慶び申し上げます。平素より旭陵同窓会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

はじめに、このたびの本年度の総会日程変更およびゴルフ大会中

り、会員相互の輪が広がりますようお願いしています。

さて、今年の特別公演は久好圭治さん（51期、大阪大学特任研究員）です。

NHKドラマ「宙わたる教室」を見られた方も多いのではないのでしょうか？「学びを楽しむ」ことの大切さや、「挑戦することの意義」を生徒たちに伝え、教育の永遠の可能性まで教えてくれたドラマでしたね。

久好さんはそのモデルになった大阪府立高校の定時制課程の研究発表を指導した方（実物）です。

約一年前に講演を快諾いただきました。また、ご自宅でご経験をうかがった際にはお話が尽きませんでした。

今回、中高一貫となった西高新たな旅立ちの年にふさわしい講演となりますことにご縁と喜びを感じ、ワクワクしています。

全国各地からのご参加歓迎。お申し込みはホームページから。

止に際し、周知不足により関西支部の皆様にご迷惑をおかけしましたこと、深くお詫び申し上げます。

本件につきましては、運営体制全体に課題があったものと認識しており、現在、検証を進めており、課題を整理したうえで、運営ルールの再整備に取り組んでまいります。

さて、昨年度は、関西支部をはじめ各支部において、総会・懇親会など多くの交流事業が開催され、多くの同窓生の皆様から励ましと

ごあいさつ



山口県立
下関西高等学校 校長
内田 正弘
(62期)

旭陵同窓会関西支部の皆様におかれましては、御健勝にて御活躍のことと心からお喜び申し上げます。また、平素から本校教育の推進に多大なる御支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、学校の状況についてですが、今春には、204名の卒業生が新たに旭陵同窓会の仲間入りをさせていただきました。

生徒の進学状況ですが、東京大学、京都大学、大阪大学、名古屋大学、九州大学など、国公立大学の現役合格者数は112名。また、医学部医学科については現役2名、浪人4名が合格しました。

生徒には、視野を広げ、志を高くもって、「入れる大学」ではなく、「自分の学びたいことが学べる大学」をめざして最後まで頑張りぬくことを伝えています。生徒たちの3年間の努力は着実に実を結んでいると感じています。

令和8年4月8日（水）、下関西高等学校附属中学校の開校式及び入学式が挙行されました。平屋山

刺激をいただきました。

一方で、各支部に共通する課題として、若手会員の参加促進と次世代への継承が挙げられます。役員の高齢化や参加者の固定化が進む中、同窓会活動を将来へつないでいくためには、若い世代の力と新しい感性が不可欠であると考えております。本部といたしまして

も、各支部と連携しながら、若い世代が参加しやすく、魅力を感じられる交流機会や情報発信の充実

に努め、次世代へとつながる同窓会づくりを進めてまいります。

口県副知事の開校宣言ののち、私が58名の新入生の入学を許可しました。新入生あいさつでは、代表の生徒が、「附属中学校の第1期生としてこの場に立てることを誇りに思うとともに、これから始まる学校生活に対する期待で胸が高鳴っています」と元気にあいさつしてくれました。同じ日の午後には、高校の入学式を行い、228名の新入生を迎えました。令和8年度は、中学校58名、高等学校676名でスタートしました。

今年度もスクールミッションに掲げる「知・徳・体の調和がとれ、グローバルな視点に立って社会に貢献できる人材の育成」をめざし、SSHの取組や課題研究などを通して、多様な文化や価値観に触れ、幅広い視野を身につけられるよう、生徒も教職員も果敢にチャレンジしていきたいと考えています。

終わりに、同窓生の皆様には、改めて本校教育の充実・発展のために御理解と御支援を賜りますよう、心からお願いを申し上げますとともに、旭陵同窓会のますますの御発展と皆様の御健勝、御活躍を祈念して、ごあいさついたします。

進学状況、部活動成績、新入生・卒業生数は、旭陵同窓会のHPをご覧ください。

また私事ではございますが、昨年の「下関海響マラソン」にも出場し、高校時代の同級生3名とともに無事完走することができました。挑戦を続ける中で、努力を積み重ねることの大切さ、そして人とのつながりのありがたさを改めて実感しております。

旭陵同窓会は、今後も会員相互の親睦を深めるとともに、母校発展の一助となるよう活動を推進してまいります。引き続き、皆様の変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

関高 令和8年度 旭陵同窓会関西支部総会案内

■日時：令和8年9月6日（日）10:30～15:00

■場所：ホテル エルセラーン大阪 3F 宴会場
〒530-0003 大阪市北区堂島1-5-25
TEL.06-6347-1484 FAX.06-6347-1485

■来賓：同窓会会長、本部役員、下関西高校長

■会費：8,000円（家族3,000円、85期以降2,000円）

■式次第：10:00開場、10:30～11:00 総会、11:10～12:30 特別講演、12:30～懇親会

軽装・ノーネクタイで
ご出席下さい

11:10～12:30 特別講演

◆演題◆

『科学は誰のもの？ ～定時制科学部の挑戦～』

なんとなく立ち上がった定時制の科学部が「誰もやったことのない研究」に手を伸ばし、悪戦苦闘を続けています。想定外を楽しみながら、生徒たちに教えてもらった「学ぶ」ことを紹介します。

久好 圭治 氏 プロフィール

1955年11月8日生まれ、神田小学校、文洋中学校出身。中学では陸上部だったが、西高に入り剣道部へ。バイクとジャズと剣道しかしなかった3年間だった。西高卒業後、浪人して補習科へ。夏に勘当されて家を出る羽目に、パブでの皿洗い、スナックのバーテン、三菱造船所、関門橋の工事のバイトをしながら補習科に通う。当時日本で最も学費の安い大阪市立大学理学部物理学科に入学。大学卒業後、なぜか大阪府の高校理科教員になる。工業高校と普通科にそれぞれ10年間勤務。剣道部顧問と生徒指導部の仕事が生活の中心だった。鳴門教育大学大学院で同位体科学と惑星科学を学ぶ。修了後、定時制高校に転勤と同時に、大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻惑星科学グループで特任研究員として研究を続ける。定時制科学部を立ち上げ、高校生とともに最先端の科学を模索している。

大阪大学大学院理学研究科
宇宙地球科学専攻惑星科学グループ元特任研究員

久好 圭治氏(51期)



【交通案内】
最寄駅は
◆JR東西線「北新地駅」、徒歩5分
◆JR「大阪駅（桜橋口）」、徒歩10分
◆大阪メトロ四つ橋線「西梅田駅」、徒歩5分
■ドージマ地下センターC84出入口

※同窓生をお誘い合わせの上是非ご出席下さい。（ご家族の参加も歓迎）

※同封葉書またはホームページで出欠の連絡を**8月6日（木）**までをお願いします。（欠席の場合も会場準備上必ず返信をお願いします。）

※回答後も出欠の変更がある場合、関西支部ホームページから必ず連絡して下さい。

詳しくは旭陵同窓会のホームページ（<https://kyokuryo-dosokai.com>）をご覧ください。



講演風景

旭陵同窓会関西支部総会に参加して

加藤 久美子(60期)

2025年9月7日に開催された旭陵同窓会関西支部総会にご招待いただき車に関するお話をさせていただきました。私からは中古車売買において「ダメされない」ための注意点と、息子である中国車研究家加藤博人からは中国車についての最新事情についてのお話でした。

本来は2024年9月の予定だったのですが台風の影響で1年延期となりました。この時であれば、99歳の母(加藤妙子)と一緒に同予定でしたが2025年8月末に肺炎で入院することになり参加がかなわず。その後のリハビリでは旭陵同窓会で会長を務められたご経験があまりの木下毅先生が理事長を務められている長府の光風園病院に約2か月入院し、すっかり元気になりました。

このたび講演のご依頼をいただくことになったのには、私の父(18期 旭陵同窓会元会長 2003年に他界)が関西支部設立の際に少しお手伝いさせていたことが始まりと伺っております。父は熊本出身で熊本高校(旧制熊本中学)の途中から、西高に編入しました。西高のことが大好きで同窓会は下関の総会と東京支部、関西支部の総会にもよく出かけて本当に楽しんでいました。

立の際に少しお手伝いさせていたことが始まりと伺っております。父は熊本出身で熊本高校(旧制熊本中学)の途中から、西高に編入しました。西高のことが大好きで同窓会は下関の総会と東京支部、関西支部の総会にもよく出かけて本当に楽しんでいました。

私自身、関西支部総会への参加は初めてのことでしたが、当日は南左千夫君をはじめ60期の仲間たちがたくさん集まってくれて、ほとんどが西高卒業以来という状況でしたのでとても嬉しかったです!また、すぐ上の姉(52期)を知る同窓生からも声を掛けていただけて会話を楽しみました。

さて、仕事の話を少々。昨年8月から取り組んでいるのは大阪万博関連で190台も一社独占で採用された中国製電気バスの不適切事案についてです。万博関連だけではなく全国のバス会社や自治体などに合計300台以上が納車されてあちこちで不具合が多発しています。輸入・販売したのは北九州市に本社を持つEVスタートアップで、9月1日には大阪市内を走るオンデマンドバス(中国・愛中和汽車製)が回送中にハンドルの効かなくなり中央分離帯に激突してやっとなり中央分離帯に激突してもない事故も発生しました。この事故をきっかけに大阪メトロは40台の同型車両の使用を中止しています。万博会場でもバスの不

III

ホテル エルセラーン大阪

大阪・堂島

CAFE TERRACE 銀木犀 GINMOKUSEI

堂島の文化発信基地 エルセラーンホール

日本料理 桂 KATSURA

〒530-0003 大阪市北区堂島1-5-25
TEL 06-6347-1484 06-6347-1485
https://htl-el-osaka.com

全館禁煙

「宙わたる教室」(伊与原新著およびNHKドラマ)の紹介

伊与原新氏(理学博士、直木賞作家)の小説「宙わたる教室」は、ある定時制高校の科学部による発表から生まれたものです。

のちに窪田正孝主演のNHKの同名のドラマとなりましたので、ご覧になった方も多かったのではないのでしょうか?

モデルになったのは、大阪府立春日丘高校、大手前高校、今宮工科高校の定時制課程の科学部です。

年齢も抱える事情も様々な生徒が集まる定時制高校で科学部を立ち上げ、限られた設備と予算の中で「重力可変装置と微小重力発生装置を用いた物性科学や惑星科学の研究」に取り組む姿を描いたものです。

この微小重力発生装置はJAXA(宇宙航空研究開発機構)を中心とする「はやぶさ2」サンプラーチームの基礎実験につながります。

その結果が学会で発表された際には春日丘高校定時制科学部が共著者として名を連ね、最先端の惑星科学に貢献したのです。

この科学部を立ち上げから指導していたのが久好さんでした。

久好さんには、これまでのご経験、特に生徒たちが科学のもつ本質に出合い、成長してゆく過程を通して真理を追求する好奇心の育て方や個人の特性を生かす環境づくりの重要性などをお話いただけるものとワクワクしています。



30期 米田康江さん
乾杯のご発声



広告協賛いただいている方々の紹介



40期 山内英雄さん、自著
「とことんストレッチ」の紹介



59期 戸川隆夫さん
万歳三唱



校歌斉唱



50期 安部文司さんから
コンサートのお知らせ



40期 山本忠士さんの
ウクレレ演奏



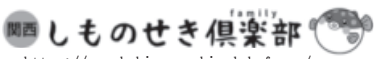
加藤さんとご子息の博人さん

私の仕事は「車で悲しい目に
遭った人に寄り添いたい」をポリ
シーとしておりまして、車の売買
に始まり、車検や税金、クルマ系
の事件(詐欺・横領・盗難など)に
至るまでをテーマにしています。
車で困ったことがありますらざ
ひ、ご相談ください。
kenteioyako@gmail.com



ご子息の博人さんにも講演いただきました

具合を理由とする複数件の事故が
発生しておりましたが、来場者の
方々がけがをされることはなかつ
たのでほっとしています。



<https://www.kshimonoseki-club-f.com/>

下関の人・事・文化を未来へと紡ぐ
ご縁つなぎの一人に…
あなたも参加してみませんか？

お問い合わせ先：関西しものせき倶楽部family事務局
bakan@kshimonoseki-club-f.com

随時会員募集中

第5回交流会へ参加されませんか？

11月15日 (日)

- 場所：ホテルエルセラーン大阪
- 時間：12：30受付開始
13：00～16：00交流会
- 参加費：10,000円(年会費は不要です)

ちゃんと美味しい、だから続く。
割烹のプロの技で学ぶ
“体質改善できる和食”
✓ 出汁
✓ 発酵
✓ 本格調味料
料理の腕が上がるほど、体も整う。

一般社団法人日本家庭料理協会
代表理事 辻井よしみ

<北新地 Y's (ワイズ)オーナー>

興味を持たれた方は下の2次元コードから
見に来て下さいね。



おいしさの感動をお伝えする!!

黒毛和牛専門店
(神戸ビーフステーキ、しゃぶしゃぶ、焼肉)
(株) 味 鉄

〈直営レストラン〉
・舞子 ・三宮 ・本山 ・西宮 等神戸一円10店舗 ・(東京)赤坂店

日本一の神戸牛で、ゆっくりグルメの世界をお楽しみ下さい。
お中元、お歳暮には地方発送もいたします。お気軽にご相談下さい。

常務取締役 舞子店長 **安田 好幸** (43期)

舞子店 神戸市垂水区東舞子町2-21(JR舞子駅すぐ)
TEL 078-783-3520 アドレス <https://ssl.ajitetsu.com>

秋のハイキング
第46回 秋のハイキング
「京都・紅葉と学生食堂
探検」実施報告

南 佐千夫 (60期)

2025年11月15日、第46回秋のハイキング「京都・紅葉と学生食堂探検ハイキング」を開催しました。秋も深まる京都で、紅葉を愛でつつ、京都大学の学食探検や総合博物館見学を楽しむ企画です。当日は30期から60期まで、友人・ご家族を含む計12名が参加しました。

◆当日の様子

出町柳駅に集合後、一行は京都大学キャンパスへ。銀杏が一面に色づいたキャンパス内では、鮮やかな景色を楽しめました。途中、小林先輩の体調が少し心配されましたが、娘さんのご同行もあり無事全員で北部食堂に到着。皆で学食ランチを楽しんだ後、食堂を背景に記念撮影も行いました。



京大キャンパスにて

昼食後は京都大学総合博物館を見学。この日は運よく「関西文化の日」にあたり、観覧料は無料。ノーベル賞受賞に関連した展示から、ゾウの化石、霊長類研究など幅広い内容が並び、参加者の興味を大いに引きつけていました。その後、鴨川河川敷へ移動し、持ち寄りスタイルの野外飲み会に。アルコール類は十分すぎる量が揃い、自家製燻製などの酒の肴とともに、和やかな語らいの時間が続きました。

一方で、河川敷周辺では観光客増加の影響か公衆トイレがなく、

コンビニもトイレ利用不可という状況…。最終的には「トイレに行こう解散」となり、ハイキングの際はトイレチェックが重要という教訓をあらためて得た回でもありました。

◆まとめ

紅葉の美しい京都を歩きながら、旧交を温め、近況を語り合い、それぞれ思いを共有できた有意義な一日となりました。当日の集合写真も併せて掲載いたします。



京大北部食堂前にて

春のハイキング

郡山城に集う春の一日

奥田 一夫 (48期)

毎年、花見の季節になると「年々歳歳花相似 歳歳年年人不同」という劉希夷の詩を思い出す。変わらず咲く花と、移ろう人の歳月。その思いを胸に、関西支部の花見ハイキングが開催された。

会場は豊臣秀長の居城であった郡山城。歴史の重みを感じさせる地に同窓が集い、和やかな語らいの時間が流れた。90歳組の小林先生、米田さんが参加されなかったのは少し寂しかったが、31期の黒田さんが元気に参加されました。話題はもつぱら、西高が中高一貫校になること、女子校や男子校の共学化といった母校や学校を取り巻く変化に及んだ。また、「梅光は断然、梅光女学院でなければならぬ」と語るお二人の梅光女学院卒業生の言葉には、母校への深い愛

情が感じられた。



近鉄橿原線をバックに

玉川画伯のスケッチ指導はあいにく雨で叶わなかったものの、仏画の達人である父上を持つ和田さんの持参された作品は目を見張るものがあつた。幹事の南さんが小泉八雲の末裔の親類であるという興味深い話題は、次回の記事に譲りたい。

老年期をかみしめる劉希夷の「代悲白頭翁」を吟じながら、再会を約して散会となった。



郡山城にて
スケッチ

但看古来歌舞地 惟有黄昏鳥雀悲

新年会

還暦を迎えた新人デビュー

大澤 正治 (60期)

皆様には、良いお年をお迎えのことと存じます。

さて、私事、昨年、60歳還暦を迎え、一つの節目で長年勤めた職場を退職しました。ふと顧みますと、下関を出て40余年が経ちましたが、ここに来て、高校時代を思い出し旭陵関西の支部活動に一歩足を踏み入れてみました。

昨年の総会に初めて出席（誠に失礼なお話しではありますが）して、新年会は神戸の舞子で催すと

お聞きし、思わず回覧板の参加欄に丸印。というのも、住いの本拠地は南あわじ市で、大阪勤務が長かった単身赴任当時は舞子駅が高速バス乗換に利用する私のハブ駅でした。（結果、こんなところにこんな名店があつたのかと驚きと喜びもひとしおとなりました！）さて、今年も明石海峡大橋のたもとに佇むお店、「焼肉 味鉄」さん（43期の安田好幸先輩が役員としてお勤めのお店）で旭陵関西の新年会の始まりです。



手前右端が大澤さん

当日は震災哀悼の日、震災への想いも抱きながら、メンバー16名が集いました。それはどれも絶品のお肉料理をいただきながら、片山さん（48期）差し入れの、瀬祭の焼酎やビンテージのワインにも酔いしれ、賑やかであつという間の3時間。

この楽しいひとときを創り出すのは、何よりもメンバーでした！柔らかく朗らかな会話が印象的な阿部支部長（54期）、笑顔で気遣い



48期 片山啓さんから差入れ

の絶えない「北新地 Mint」のママ濱岡女士（59期、関学の先輩とはぶち奇遇）、軽快な口調と歌姫の、全くもって愉快な中谷さん（56期）、紳士的な振る舞いとウクレレ演奏で支部運営を支える玉川さん（59期）など、各活動で西高の先輩と交わせる交流は、他にはないお付き合いです。

特に大げさに遠慮することもなく、初めてお会いする方々なのに、その場の居心地は最高で、懐かしさすら感じます。

職場を離れた私自身、色々足を運んで初めて分かる、新たな発見に喜びを感じ、小さいことからコツコツと、何事もチャレンジだなどと改めて感じました。還暦の新人は、一期一会の機会に感謝して、これからも多くの方々との出会いに胸を躍らせながらカラダが言うことをきく限り参加したいと思っています（少しずつガタがきていますが…笑）。皆様もいかがですか？

現在活動に参加される方の平均年齢は若干高めですが、現役でお仕事されている方も多く、気持ちと行動はとても若い方々ばかりです。人生のスパイスのおひとつに、是非、お気軽にご参加することをお勧めします！特にお勤めや自営業をされてるお若い方は、西高先輩のアドバイスも聴けて、「いいじゃん」ときつと思う！かもね。

それでは、還暦の新人、今年は気持ちも新たに出席するよ！



43期 安田先輩（後列右から4番目）を
囲んで

西山眼科

院長 西山 和夫 (44期)

〒552-0016

大阪市港区三先2丁目13番24号

電話：06-6576-0323

大阪市営地下鉄「朝潮橋」徒歩2分



片山 啓 (48期)

院長 片山 啓 (48期)

〒657-0845

神戸市灘区岩屋中町4丁目2番7号 BBプラザ2F

TEL 078(802)5990 神戸市委託 病児保育室プエリ 併設



いい感じで出来上がっております

私は転勤族ということもあって、旭陵同窓会にはずっと不義理を働いていたのですが、大阪に来てからは関西支部役員で同級生60期の南君や吹奏楽部後輩64期の柴田君に声を掛けられて、数年前から9月の総会に顔を出すようになりました。

そこで雲の上の大先輩方や年次が近い人達と旧交を温めるうちにカニツアーのことを知り、行ってみたいと思っていたところ、今年はいよいよ予定が合い初の参加となりました。

令和8年2月14日(土)の朝、JR大阪駅構内のイカリスーパー前に集合、行きの電車での0次会に備えてお酒やおつまみを調達し、幹事の56期中谷さんから切符を受け取って8時12分発このとり1号に乗り込みます。



佐藤 理徳
(60期)

カニツアー初参加



60期同期が三名参加しました

お昼はカニ料理のコースなのに大丈夫かな?と思いつつ、行きの車内では酒盛りが繰り広げられましたが、無事に城崎温泉駅で普通列車に乗り換え2駅先の佐津駅に到着し、そこからは毎年お世話になっている民宿「源助」さんのお迎えの車で12時前に現地に辿り着き、いよいよ待ちに待ったカニとご対面です。

お料理はお刺身に始まり、カニみそ、焼きガニ、カニすき、締め雑炊まで2時間余りの豪華なコース、それと残念ながら急遽欠席された最年長33期の西村さんから差し入れていただいた関娘などの美味しいお酒を堪能しました。よく無口になると言われるカニ料理ですが、8畳間が3つ開放されて広々とした会場に各テーブル3〜4人ずつのゆったりとした配席のおかげで移動もしやすく、皆さまとの会話が弾みました。

帰路は城崎温泉駅で早めに帰る組と城崎温泉に寄って帰る組の二手に分かれたましたが、とても楽しく充実した時を過ごすことができました。

高校卒業以来、故郷を離れて久しくなりましたが、還暦も過ぎたこの歳になり、同窓の方々や忘れかけていた西高時代のことや下関の話題に花を咲かせていると、懐かしいほのぼのとした温かい気持ちになりました。

今やインターネットは日常生活にも不可欠なツールとなり、コミュニケーションが簡単な時代になりましたが、こうした対面でのお付き合いに勝るものはありません。ぜひともこれを機に、来年は参加してみようかなと思っていただければ幸いです。

2025年10月18日(土)愛宕原ゴルフ倶楽部にて第44回旭陵同窓会関西支部ゴルフコンペが3組11名で開催されました。当初の天気予報は曇りでしたが、途中から雨が降ったり止んだりのコンディションとなりました。いきなりダブルボギースタートで、『やっぱり今日もダメか!』と思ったのですが、そこから凌ぎに凌ぎ、前半41。後半中盤からは柄にもなく、どんどん口数が減っていき、一緒にラウンドいただいた熊野先輩、藤本先輩、南さんに助けられて38!特に印象に残っているのは最終ホールで藤本先輩から「この状況のセカンドショットは1番手上げた方が良い」とアドバイスをいただき、そのおかげでパーセーブ、自身初の70台(79ですが...)を達成することが出来ました!優勝は嬉しかったのですが、それ以上に自己ベストを更新したことの方がもっと嬉しかったです!

私事ですが昨年5月末に38年間の会社人生に一旦終止符を打ち、



波多野 孝四郎
(58期)

秋のゴルフ
第44回支部ゴルフコンペ
(秋季)を終えて



満面の笑みの波多野さん

これからはまずは自分が健康でいられるために、そして趣味を楽しむ程度の小遣い稼ぎもしていくため、本年2月16日より週4日で働き始めております。

第2の人生は、これまで支えてくれた家族、親友、そして下関西高の素晴らしい先輩後輩仲間へ報恩謝徳の心を忘れることなく、大いに楽しんで参りたいと思います。毎回お世話して下さいる南さんはじめ、皆さん本当にありがとうございます。感謝!



コンペ開催のこの頃は求職活動をしていた時期でもありましたので、少し不安な日々を送っていたのですが、いつも西高の皆さんにはお会いする度に何かと気に掛けていただき、応援いただいております。たので、10月18日のこの日は生涯忘れえぬ一日となりました。



45期の熊野裕治です。今回2026年5月16日(土)愛宕原ゴルフ倶楽部で、本人もでき過ぎと思いますが中コース、西コースともに46、グロス92でベストグロス賞と優勝をゲットできました。

メンバーの皆様、天気、旭陵ハندیキャップも味方についてくれました。月1ゴルフも毎回開催していることも、スコアアップにつながりました。

ベスグロ賞品は、日本酒、優勝賞品はバッグと大変高価なものをいただきました。ベスグロは、最終ホールまで上村さんと競いあいゲットすることができました。

前々回は、ベスグロを取りながらも、旭陵ハندیキャップで、ブービーだった記憶があります。

旭陵同窓会のメンバーの皆様も秋のゴルフコンペに是非多数参加していただきますよう、お願いいたします。



熊野 裕治
(45期)

春のゴルフ
第45回支部ゴルフコンペ
(春季)開催報告

万ーガスが漏れたとき、ガス漏れ検知警報器が発報しなかったら、大事故につながります。警報器の点検整備は当社にお任せください。

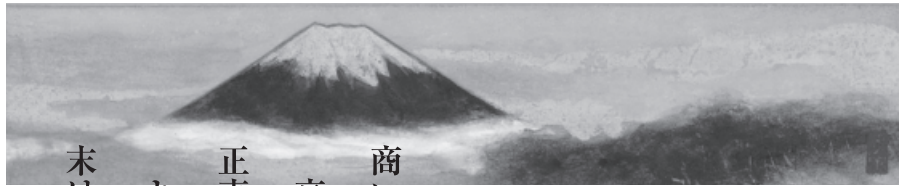
有限会社 西村電機サービス

取締役会長 西村 勲 (33期)

〒599-8253 大阪府堺市中区深阪 6-7-26
TEL(072)236-9508 FAX(072)230-2204
携帯 090-4295-4857

E-mail info@nds-mente.co.jp

ご家庭からコンビニートまで明日の安全を見つめています。



画 森本有泉

商いは
高利をとらず
正直に
よき品を売れ
末は繁盛

富士精版印刷株式会社

本社 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目4番33号
TEL.06-6394-1181代
市島工場 〒669-4342 兵庫県丹波市市島町矢代字才上377番1号
TEL.0795-85-1488
東京支店 〒211-0021 神奈川県川崎市中原区木月住吉町22番3号
TEL.044-434-3070



<https://www.fujiseihan.co.jp>

同好会レポート

美吉野醸造(株)酒蔵見学記

山本 良子(70期)

関西支部の「日本酒同好会」が発足したと聞き、興味津々で参加いたしました。「家では全く飲まないが、外で飲むのは大好き」という私にとって、2026年3月14日に行われた第2回目の活動となる酒蔵見学は待ちに待った機会でした。

幹事の南さん(60期)のご尽力により実現した今回の訪問先は、奈良県吉野町にある老舗、美吉野醸造株式会社さん。代表銘柄「花巴(はなともゑ)」で知られるこの蔵は、自然の力を最大限に活かした酒造りを大切にしています。

蔵に足を踏み入れると、まず感じたのは澄み渡った空気と、独特の香り。杜氏の橋本さんの解説によれば、こちらでは蔵に棲みつく天然の微生物を活用し、あえて過度な管理をせずに発酵を促しているとのこと。一般的な酒造りでは厳密な温度管理や酵母選定が行われますが、この蔵の「自然に任せる」姿勢は非常に特徴的で、仕込



美吉野醸造(株)酒蔵見学

みごとに味わいが異なる点こそが最大の魅力なのだそうです。

吉野の豊かな水と

風土が酒の個性に影響を与えているというお話も印象的でした。

山々に囲まれた環境の中、季節の移ろいとともな酒の表情も変わる。酒造りとは単なる製造業ではなく、自然との対話なのだという話を肌で実感しました。

不織布の白衣と衛生帽子を身にまとい、

実際に使用されている麹室へ入った時の独特の空気感、冷たい水でさらしを洗う作業、そして吉野杉の大樽の中で自然に任せて発酵が進む具合も見せていただき、充実の見学会となりました。

見学の締めくくりは、お待ちかねの試飲です。一番興味があったのは、仕込み時期ごとの変化を楽しむ「自然淘汰」という銘柄。仕込み初めものから最近のものまで全て試飲できるとのことでしたが、ここで思わぬ誤算が。橋本



酒蔵見学後、居酒屋にて(手前左端が山本さん)

さんのお話が非常に興味深く、さらに日本酒愛溢れる先輩方の質問が白熱した結果、試飲の時間が少々短くなってしまったのです。結局、最初と最後のものしか口にできず、これには思わず苦笑いしてしまいました。

気がつけば、二次会の美味しい地酒がいただけるという榎原神宮前のお店(食べ飲み処まる)の予約に遅刻しそうな時間！慌ててお土産を買い込み、六田駅まで小走りで向かいます。試飲が控えめだったので、誰一人足をもつれさせることなく、無事に電車に滑り込むことができました。

しかし、楽しい二次会を終えての帰り道、気がつく私の手は空っぽ。せっかく買ったお土産を忘れるという大失態をしてしまいました。その忘れ物を南さんが預かってくださったっており、後日それを受け取りに伺った際に、ご依頼いただいたのが本稿執筆のきっかけです。それも含めて、良い思い出です。

最年少の私を温かく受け入れてくださる寛大な先輩方、本当にありがとうございます。今後ともよろしく願っています！

お気に入りの粉もん屋

中谷 幸一(56期)

皆さん、粉もんの中では何が好きですか？

お好み焼？たこ焼き？焼きそば？オーソドックスなお好み焼でしたら間違いなく西高生のソウルフード、すいずのお好み焼と行きたいところですが、今はお店もな

く味の記憶も無いので今回はパス。お手軽にテイクアウト出来るたこ焼きをご紹介します。下関でたこ焼きといえばかめやのたこ焼きですよ。昔はグリーンモールの入口の所にあったように記憶していますが今はシーモール

下関の地下1階にあります。かめやに行ったらこれ一択！たこそば焼。粉もん好きにはたまらないたこ焼きと焼きそばの合盛り、たこ焼き6個と焼きそば半玉のたこそば焼小はペロツといけちゃいます。大阪で主流の外カリ中ふわとはちよつと違う、小ぶりではのかに出汁の味が漂うもちりタイプのたこ焼き。かめや特製のからしマ



たこそば焼き



かめやにて

大阪やったら和楽路屋でしょう。こちらでも昔は私が住んでいた豊中の駅前であって、わが家が箕面に引っ越すついでに来る様にコープ箕面店にもオープンして私の粉もん人生の一番身近にあったたこ焼き屋さんです。残念ですが今は千里中央のせんちゅうパル店しか食べられません。一人前10個のたこ焼きはかめやに似て中がもっちりしています。でも決定的に違うのが外側がカリッと香ばしいこと。焼きあがる寸前に振りかける白ワイン？で表面を軽く炙る様な感じ。この香ばしさがビールに合うこと合うこと。焼き上がりに少し時間がかかるので混んでいる時は(大概、混んでいます)始めから2人前20個行くか、早めに追加注文するのがおすすめです。

以上、ビールに合うたこ焼き屋の紹介でした。

59期在住会大阪ミントツアー

前田 要(59期)

59期在住会山口県に在住、もしくは事情があつてちよくちよく下関へ帰省するメンバーで構成されています。私も名古屋在住ですが、90歳になる母親が下関で一人住まいをしていることもあり、3ヶ月に一度帰省をしています。活動は下関でのランチ会が中心なのですが、今年の正月に寺田(蔵本)智子さんの発案で、大阪新地のBARミントへ行こうということになりました。ミントは59期同期の濱岡睦子さんが経営するお店です。その他メンバーは肥塚美千代さん、糸賀(郷)

ユカさんです。皆それぞれ年齢を重ね、自由に行動できるようになったのでこの企画が実現できました。

5月17日(土)それぞれが大阪に集まり、一次会は西梅田の焼き鳥屋「たか鳥」でした。女性陣の「お酒落な店ではなく、日頃行けないような庶民的なお店へ行きたい」という要望に応え、5千円飲み放題のコースです。若者向けのコースですので、次々に焼き物や揚げ物が出てきて、終盤の料理はほとんど残して退店しました。皆60歳を超えて食欲が落ちているようです。

その後、20時半に待望のミントへ到着。すでに関西在住の同期も集まってくれていました。オーナーの濱岡さん、愛知県から中谷邦子さん(斉藤)、岡村真理子さん、弘中君、玉川君です。写真は玉川君が撮ってくれましたので、彼は写っておりませんのであしからず。ミントでは、高校時代の懐かしい話、皆の近況報告等で大いに盛り上がり、また酔っ払

いました。同期会というのは、昔親しかった人はもちろんですが、高校時代に話したこともなかった人とも親しくなり、新しい発見があるのいいですね。今回一緒に企画してくれた寺田さんは、高校時代には会話したことがありませんでしたから。

59期在住会のモットーは「元氣なうちにやりたいことはやろう！」です。この方針に賛同される同窓会の皆様、是非一緒に遊びましよう！お声かけをお待ちしております。



ミントにて(左から3人目が前田さん)

故郷下関便り



加藤 修

(66期)
下関市教育委員会
教育部次長

大学を卒業後、ふるさとの下関市役所に入庁して33年目を迎えました。現在、2度目の教育委員会に所属しています。私が過ごした4〜50年前の小中学校の現場とは時代が変わりまして、子どもたちの様々なニーズに応じていくのが教育行政の使命となっており、社会環境の変化に日々向き合っております。不登校対策も重要課題のひとつで、下関市では、この春、文部科学省の指定を受け、「学びの多様化学校」である下関市立文洋中学校関西分校を開校しました。この学校は、学校に登校できず学びの機会を失っている子どもたちの新たな学び場として設置するもので、通学区域は市内全域です。独自の教育課程に基づくユニークな学校運営を行うことで、不登校やその傾向にある子どもたちの新たな選択肢として期待されています。さて、わが国は人口減少時代に突入していますが、地方都市である下関市も少子化と人口減少が長年の大きな課題となっています。私が身を置く教育の分野でも小中学校の小規模化が顕著となっています。下関市の児童生徒数は、小学校が昭和56年度の3万1539人をピークに令和7年度が1万4511人、中学校が昭和61年度の1万5629人をピークに令和7年度が5488人とピーク時の3分の1にまで減少しています。

学校の規模によってそれぞれ良さや課題がありますが、下関市教育委員会では、学校には一定の規模が必要との考えの下、将来にわた

東京支部便り



和田 剛

当番幹事代表
(71期)

たつて義務教育の教育水準の維持・向上を図るために市立小中学校の統廃合に取り組んでいます。これまで、地域の方々にご理解をいただきながら進め、この10年間で7地域において学校統合や小中一貫教育校の設置に至りました。

一方、県立高校であるわが母校西高もこの時代の流れに無関係ではなく、山口県教育委員会が取り組んでいる「県立高校再編整備計画」に基づき、令和元年度には定時制が下関双葉高校に再編され、この春には進学指導に重点を置いた中高一貫教育をおこなうため、附属中学校が開校されました。更には、令和15年度を目処に、西高と南高を再編統合し、西高の位置で新高校を設置するという計画が示されています。

少子化の中、県立高校の小規模化と定員の確保が厳しくなっている状況を考えると、小中学校と同様に、今までどおりの高校運営というわけにはいきません。卒業生としては気になるところですが、今後、母校がどのような学校になっていくとしても、校是「天下第一関」の誇りを持てる学校であることを願っています。

ただ、心を痛めていることがあります。まして、現在、西高では附属中学校の校舎整備のため、グラウンドに仮校舎を構えているのですが、野球部OBとしては、現役当時毎日のように駆け回っていたグラウンドが、今や内野のスペースも十分にない状況を見ると、グラウンドで満足に練習できない後輩部員が不憫でなりません。野球の勝負をする上ではハンデになりますが、不十分な条件の中で工夫しながらの練習は、きっと通常では得られない力を引き出してくれるものとポジティブに考えるしかありません。

逆境を力に変えて、この夏も、頑張れ！西高野球部！

旭陵関西支部の皆さま、はじめまして。旭陵同窓会東京支部・第71期当番幹事代表を務めます和田剛と申します。日頃より関西支部の皆さまから賜るご厚誼に、心より御礼申し上げます。

70期の先輩方から見事なバトンを受け継ぎ、本年は「進化と記憶」昭和100年を超えて「学び舎を繋ぐ、AI時代の絆のアルゴリズム」をコンセプトに活動しております。昭和・平成・令和と紡がれてきた「記憶」を礎に、世代や立場を越えた新たな「進化」を生み出す——そんな旭陵らしいつながりを、皆さまとともに育んでみたいと考えております。

去る5月30日には、浜松町Lounge CRIBにて「東京ウェルカムパーティー2026」をBBQ形式で開催いたしました。上京したばかりの後輩を中心に、「ひとりで来ても大丈夫」をキーワードに据え、先輩・後輩がフラットに語り合い、自然と知り合いが増える時間となりました。

本年10月31日(土)には、東京ポートシティ竹芝ポートホールにて総会・懇親会を開催いたします。当日がハロウィンにあたることから「旭陵ハロウィン」と銘打ち、仮装はもちろん「気持ちだけ参加」も大歓迎の、少し遊び心のある懇親の場をご用意しております。このほか、第60回の節目を迎える旭陵ゴルフ会、58回を数える旭陵勉強会など、世代を超えた交流の輪も着実に広がっております。少子化や上京組の減少など環境は決して容易ではありませんが、

福岡支部便り



和田 清

福岡支部長
(43期)

第43回旭陵同窓会福岡支部総会・懇親会が4月19日に八仙閣本店で参加者37名で開催されました。昨年は、懇親会の乾杯時点ですでにほぼ2時間経過していたという前代未聞の事態でしたが、今年は、なんとか常識的な範囲の超過で収まりました。

参加者37名の内訳は、来賓4名(会長、校長、幹事長、今年度本部当番幹事)、ゲスト2名(チェリスト、ピアノリスト)、下関から5名、関西から1名で、福岡在住者は25名ということになります。

総会では、伊藤会長の挨拶に続き、4月に開校した「下関西高等学校附属中学校」の話が内田校長からありました。懇親会ではサンスピュ作曲「白鳥」の他ポピュラーな蘇州夜曲・愛の賛歌・ダニーボーイのチェロ演奏がありました。終わりに歌うのは通常校歌・応援歌なのですが、39期以前の卒業生には現在の西高校歌にはあまり思い入れがないこともあり、

校歌の前にチェロの演奏で『高校3年生』を大合唱しました。最後は、博多手一本で締めましたが、私の記憶では初めてだと思っています。なお、集合写真では、支部に長年貢献された90歳超えの7名のご婦人方に最前列に座って頂きました。

以下は、私のぼやきです。前述の福岡在住者25名を年齢別に見ると80歳以上が14名でさらに90歳以上が9名と40歳代がいないことを考慮すると参加者の高齢化が顕著です。伊藤会長の挨拶でも高齢化による持続可能性の危惧が各支部にあると話されていましたが、福岡支部は絶滅危惧支部に認定される可能性大と思われます。支部長としては持続可能性を検討したいのですが、80歳以上の参加者の多くは「持続可能性とか先のことを堅苦しく考えるより今を楽しもう」と思っておられるようなので、この意識の差が悩みの種です。

明るい兆しもあります。伊藤会長の妹さん夫婦(68期)が参加されたことです。このお二人を起点として若い会員が増えることを期待しています。



福岡支部

56期同活バンド
The Go-Rockies

WE LOVE Mint & Chikako!

今年も東京支部総会で暴れます

10月31日(土)集まろう～



Mint

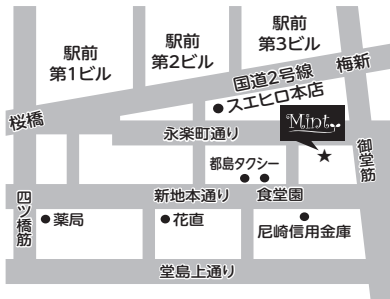
人と人のご縁を繋ぎたい、そんな思いではじめたスナックバーMint
コロナ禍も乗り越え、キタの新地で
今日も元気に頑張っております。
同窓生の皆さまのご来店、
心よりお待ち申し上げます。

濱岡 ちか子 (59期)

〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地1丁目7-6 新日本新地ビル東館4F

Tel. 06-6348-2255
携帯 090-2384-3514

月～金：(19:00～24:00)
土：お電話一本で営業します。



2025年5月〜2026年4月

寄付者ご芳名(敬称略、順不同)

ご支援いただきありがとうございます。改めて御礼申し上げます。本号の発行及び各種活動に使わせていただきます。

黒田 睦子 (31期)
益永 郁男 (33期)
安野 洋一 (33期)
西村 勲 (33期)
林田 一成 (36期)
山本 克彦 (36期)
原田 敏男 (39期)
杉野 顕紹 (43期)
中野 喜朗 (44期)
唯岡 和夫 (45期)
中野 光男 (48期)
宮本 和浩 (56期)
秋富 克哉 (58期)
大崎 和子 (62期)
三戸 求 (62期)

猪之俣 健一 (75期)
吹田市交響楽団コンサート有志
合計金額
22万9千800円
(匿名の方1名も含む)



旭陵同窓会関西支部役員

役職	期	氏名	役職	期	氏名
支部長	54	阿部紀一郎	常任幹事	58	波多野孝四郎
副支部長	56	中谷 幸一	同	59	玉川 洋
幹事長	60	南 左千夫	同	61	高橋 毅
副幹事長	59	濱岡 睦子	顧問	33	安野 洋一
事務局長	64	柴田 徹也	同	43	門田 宰
会計	57	川野 博義	同	44	竹内 正文
会計監査	56	山田 浩幸	同	45	唯岡 和夫
常任幹事	47	下方 常由	同	48	上村 繁典
同	48	藤村 徹	同	50	来島 達夫
同	58	新田浩二郎	同	53	大野 浩史

訃報

石部 雅亮さん (28期)
令和5年12月7日ご逝去

瀬戸口 房康さん (32期)
令和6年5月21日ご逝去

吉村 睦彦さん (33期)
令和7年2月ご逝去

藤田 克雄さん (35期)
令和6年10月1日ご逝去

矢野 真さん (37期)
令和6年8月1日ご逝去

乾 徹二さん (38期)
令和7年2月21日ご逝去

瀬戸 克己さん (43期)
令和7年7月5日ご逝去

白石 光憲さん (43期)
令和7年10月29日ご逝去

下関西高便り

附属中学校開校

山口県立下関西高等学校附属中学校 教頭 池田 奈邦子

旭陵同窓会関西支部の皆様におかれましては、御健勝にて御活躍のこととお慶び申し上げます。

令和8年4月8日、下関西高等学校附属中学校が開校いたしました。開校式・入学式では、平屋県副知事の開校宣言ののち、副知事から内田正弘校長へ校旗が授与され、58名の新生とともにスタートすることができました。

代表生徒のあいさつを一部御紹介します。

「私は、これからの学校生活の中で楽しみにしていることがあります。専門的になる教科の学習はもちろん、探究学習、海外研修、学校行事などです。何より、新しくできる仲間との交流や高校生との交流など、この学校でしかできないことを経験できることが本当に楽しみです。その一つ一つをみんなで目一杯楽しみたいと思っています。(途中省略)皆さまからの期待をしっかりと受け止め、第一期生として、山口県の代表となるようなすばらしい学校を、仲間と一緒に創り上げていくことをここにお誓いし、御挨拶いたします。」

祝 山口県立下関西高等学校附属中学校 開校式・入学式



現在、新制服に身を包んだ新生は、高校生と同じ校舎で元気に学校生活を送っております。体育や美術では迷路のような校舎に戸惑いながら教室を移動したり、授業では、積極的に自分の考えを伝えあったりしています。お昼には、給食のいい匂いにつられ、高校生が移動がてら、中学生の教室をにこにこしながら見ている姿も、この学校ならではの光景になっています。今後、旭陵祭や体育大会など高校生と中学生がともに学校行事を行う機会もあり、本当に楽しみです。

附属中学校は、まだまだ始まったばかりです。今後も、中高一貫教育の充実に向け、いろいろと検討も重ねていくこととなります。

これまで、先輩方が築いてこられた歴史をしっかりと継承しつつ、これからの社会のニーズに応え得る新たな学校づくりを進めてまいります。



同窓会ホームページの統合

旭陵同窓会の本部・東京支部・関西支部が一つのホームページに統合されました。転勤転居されても全国の同窓生が同じHP上で集う基盤ができました。希望する支部も受け入れやすくなるように設計されています。各支部のお知らせは支部だけでなく、TOPページに共有されていますので、まずは全国の動きが一目で見れて、その後各支部の独自ページに移る仕組みになっています。関西支部の旧HPも支部ページからアーカイブとして見るができます。

この基盤が同窓会活動の一助となり、さらなる活性化につながるよう期待しています。

制作にご尽力いただきました、東京支部同窓生である、(株)オープンクリニックス 高山氏のご協力に感謝申し上げます。

ホームページ担当 藤村

編集後記

ついに我が母校も中高一貫校としてスタートを切りましたね。中学校58名の新生の皆さん、ようこそ!!「ト君も今日からは僕らの仲間!」って随分前の青春ドラマの歌がありましたけど、旭陵の仲間になってくれてありがとうございます。中学生と高校生の交流、素晴らしいですね。旭が陵での6年間で充実したものでありますように心よりお祈りしております。(玉川記)

貴方のお名前を旭陵関西に載せませんか?

名刺広告募集中

一口5千円 (縦7cm×横5cm)

下関唐戸市場・林商店

★お電話・HPでご注文できます

社長 林 憲志(57期)

0800-600-0884

受付時間 / 9:00~17:00 (日・祝日休み)

http://www.kanmon-club.com/

スマートフォンでもOK!

明太子・粕漬がぶち旨い!

林商店がLINE@始めました♪

友だち追加方法

①ID検索で「@qmw9522n」

②LINEアプリより「友だち追加」を押して「QRコード」を押して読み取ります

QRコード

ドローン学校 下関

REDCLIFF PARTNER

ドローンショー事業

花火大会 / 記念式典

周年記念 / ライブイベント

点検・測量・散布事業

点検 / 測量 / 鳥獣被害対策

農業散布

スクール事業

国家資格取得 / 点検講習

農業散布講習 / 空撮・動画講習

空撮・動画事業

会社案内 / 記念日動画

イベント空撮

66期 秋葉 良和